

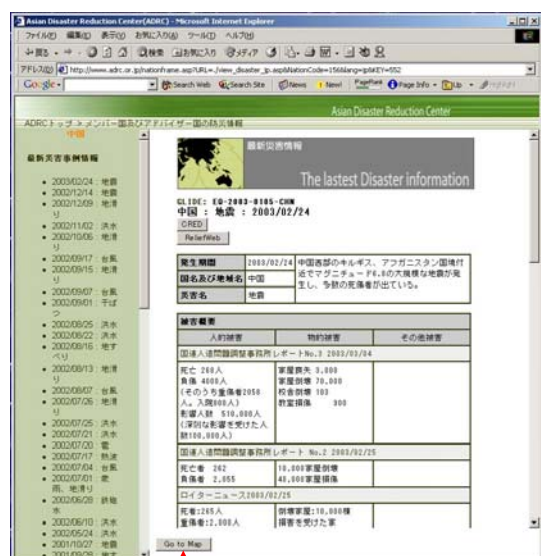
### 2-4-3 最新災害情報データベース

より利用しやすい情報を提供するため、本年度はこれまで提供してきた防災情報データベースのいくつかにあらたに機能追加などの改訂をおこなった。

「最新災害情報」のウェブページではこれまで、災害概要（発生日、発地域、概略）、被害概要、関連リンク情報（関連レポート・記事、地図情報、緊急援助関連情報、協力者からの情報、画像データ）の提供を行ってきたが、災害発生の地図情報についての要望も高まっていた。アジア防災センターでは、インターネット GIS 防災情報プラットフォーム「VENTEN」を開発し、ウェブ上で提供しており、このシステムを利用して、「最新災害情報」で提供している災害情報から容易に地図情報を表示できる機能を追加した。

地図は、位置の概略を得るための「簡易地図」表示および GIS の機能を利用できる「インターネット GIS「VENTEN」」表示の 2 種類を用意した。図 2-4-3-1 に示したように、最新災害情報の下部に地図表示ボタンが表示され、これをクリックすることにより、「簡易地図」を表示する。地図上には被災地の位置表示マークがマーキングされている。

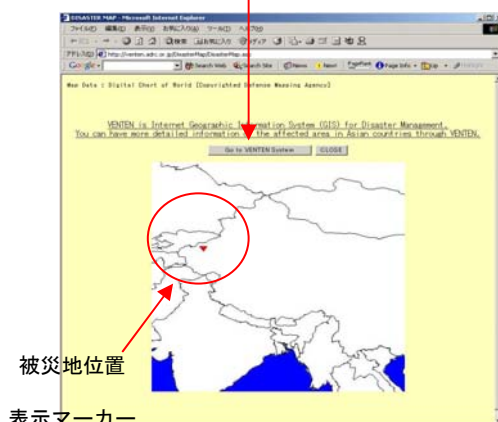
さらに、図 2-4-3-2 に示したように、GIS 機能を利用したい場合は、ボタンをクリックするだけで、インターネット GIS



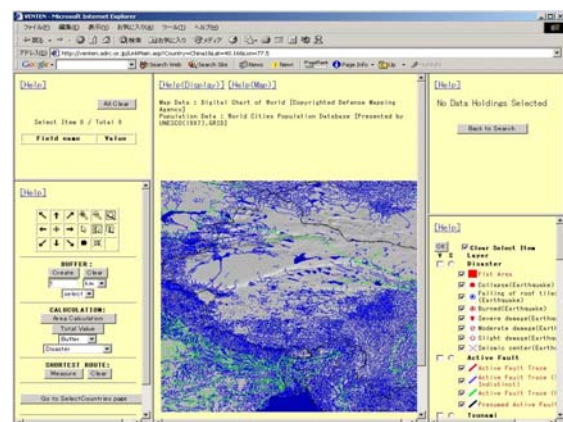
地図表示ボタン

図 2-4-3-1 最新災害情報ウェブページ

#### GISシステム「VENTEN」へ



<簡易地図>



<インターネットGISシステムVENTEN表示>  
該当地域中心の地図が表示される

図 2-4-3-2 新規機能と表示画面

「VENTEN」に簡単にアクセスすることができ、災害発生国の地図が表示される。この地図には、デフォルトとして、国土陰影、河川、国境界線が表示されるように設定している。デフォルトの表示サイズは、中国、ロシアを除く国については、国土全体が表示されるものとしたが、VENTEN のシステム上、中国は東部、西部の 2 分割、ロシアは 5 分割の表示となる。

これらの地図の表示にあたっては、新たに最新災害情報データベースに緯経度の入力欄を追加した。ユーザーから個別災害情報の表示のコマンドがあると、表示されている個別災害情報のキーコードが取得され、そのキーを基に国名コードと緯経度を取得する。さらに、VENTEN の国名コードと最新災害情報で利用している国名コードが異なっているため、新たに設けた変換テーブルで VENTEN 用の国名コードに変換する。VENTEN システムでは、アジア 35 カ国のデータが利用できるが、該当災害情報の VENTEN の国名コードが存在する場合は、「地図表示ボタン」を表示し、存在しない場合は非表示とする（図 2-4-3-3 簡易地図表示ボタン フローチャート）。

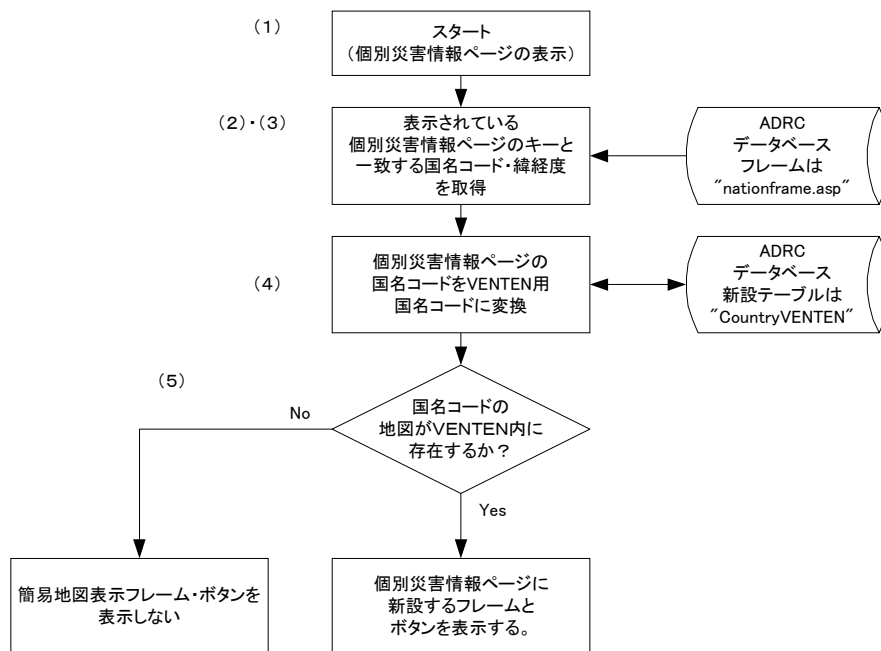


図 2-4-3-3 簡易地図表示ボタン フローチャート

「地図表示ボタン」をクリックすると、該当最新災害情報の国名コードと緯経度情報が VENTEN システムに手渡される。手渡された国名コードにより、まず分割された国(中国、ロシア)かどうかにより分類され、分割された国の場合は緯経度情報によって災害発生位置がその範囲内にあるかどうかにより、表示する範囲を決定する。一

方、未分割の国の場合は、そのまま次のプロセスに進む。分割された国、未分割の国ともに、簡易地図表示ウィンドウに国（または分割範囲）がすべて収まる縮尺が計算され、計算した縮尺で地図を表示する。続いて、緯経度情報があるものは災害発生位置をマーキングし、ないものはマーキングを行わない（図 2-4-3-4 簡易地図表示機能 フローチャート）。

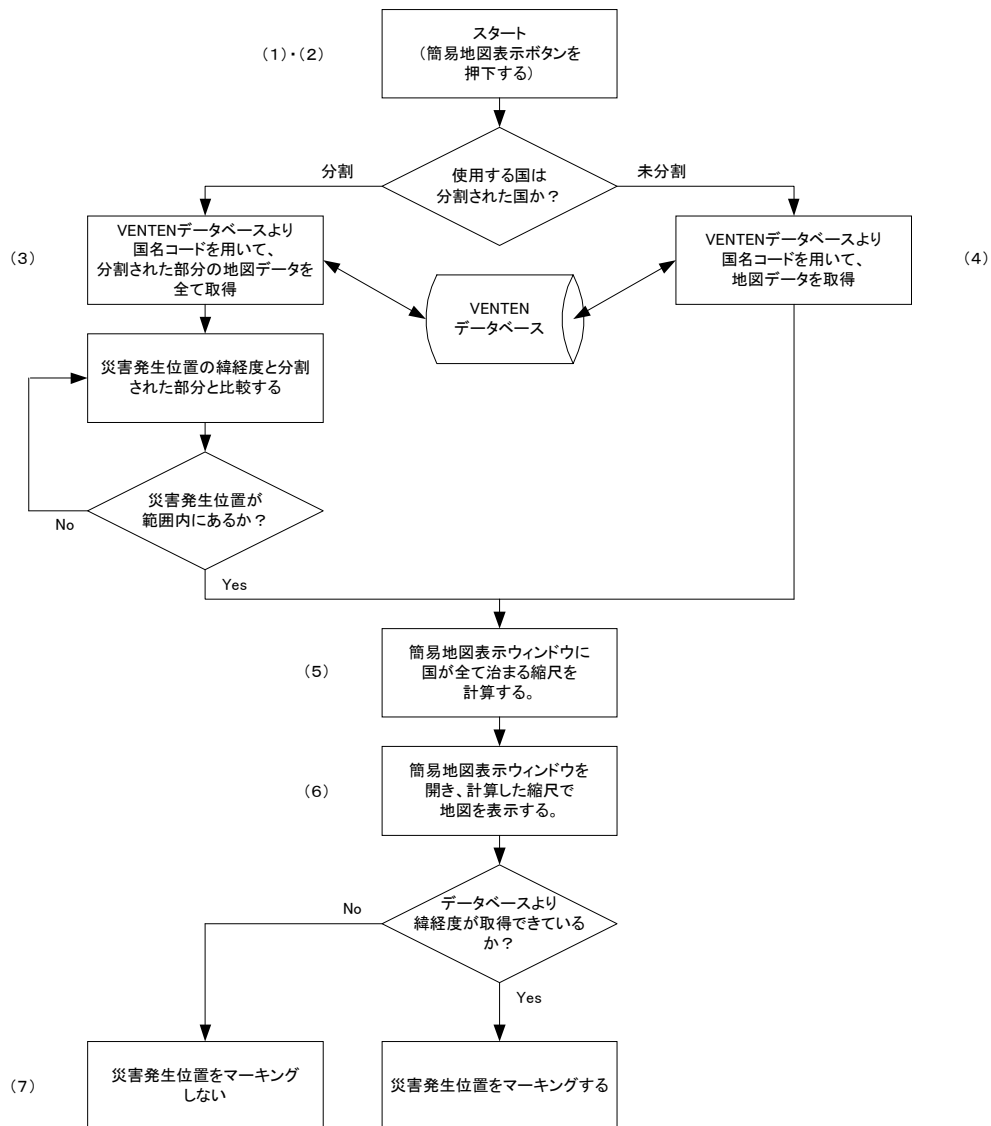


図 2-4-3-4 簡易地図表示機能 フローチャート

簡易地図には「VENTEN 表示ボタン」と「ウィンドウクローズ」のボタンが設置されており、VENTEN を表示するプロセスは以下ようになる。まず、「VENTEN 表示ボタン」が押下されると VENTEN システムに VENTEN 用に変換した国名コード情報が渡される。あらかじめデフォルトとして表示される項目を設定し、地図表示

ウィンドウに国（または分割地域）が収まる縮尺が計算された上で、VENTEN が表示される（図 2-4-3-5 VENTEN 表示プロセス フローチャート）。

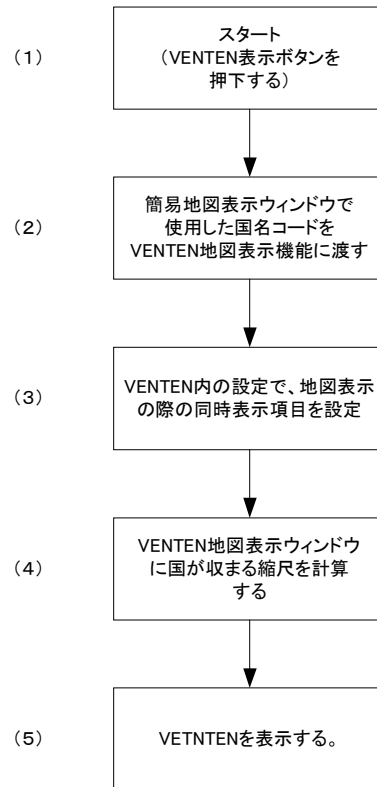


図 2-4-3-5 VENTEN 表示プロセス フローチャート

今年度の機能追加においては、VENTEN システムを改訂することが目的ではなかったため、VENTEN では災害発生位置のマーキングは行わないものとし、簡易地図表示と VENTEN 表示の二つのウィンドウが同時に開く設定で災害発生位置を確認できるものとした。ただし、自動的に VENTEN においても災害発生位置を表示させることは可能なので、来年度以降 VENTEN の機能改良を行っていく際には、VENTEN 表示においても災害発生位置マーキングを行えるようにしたい。